

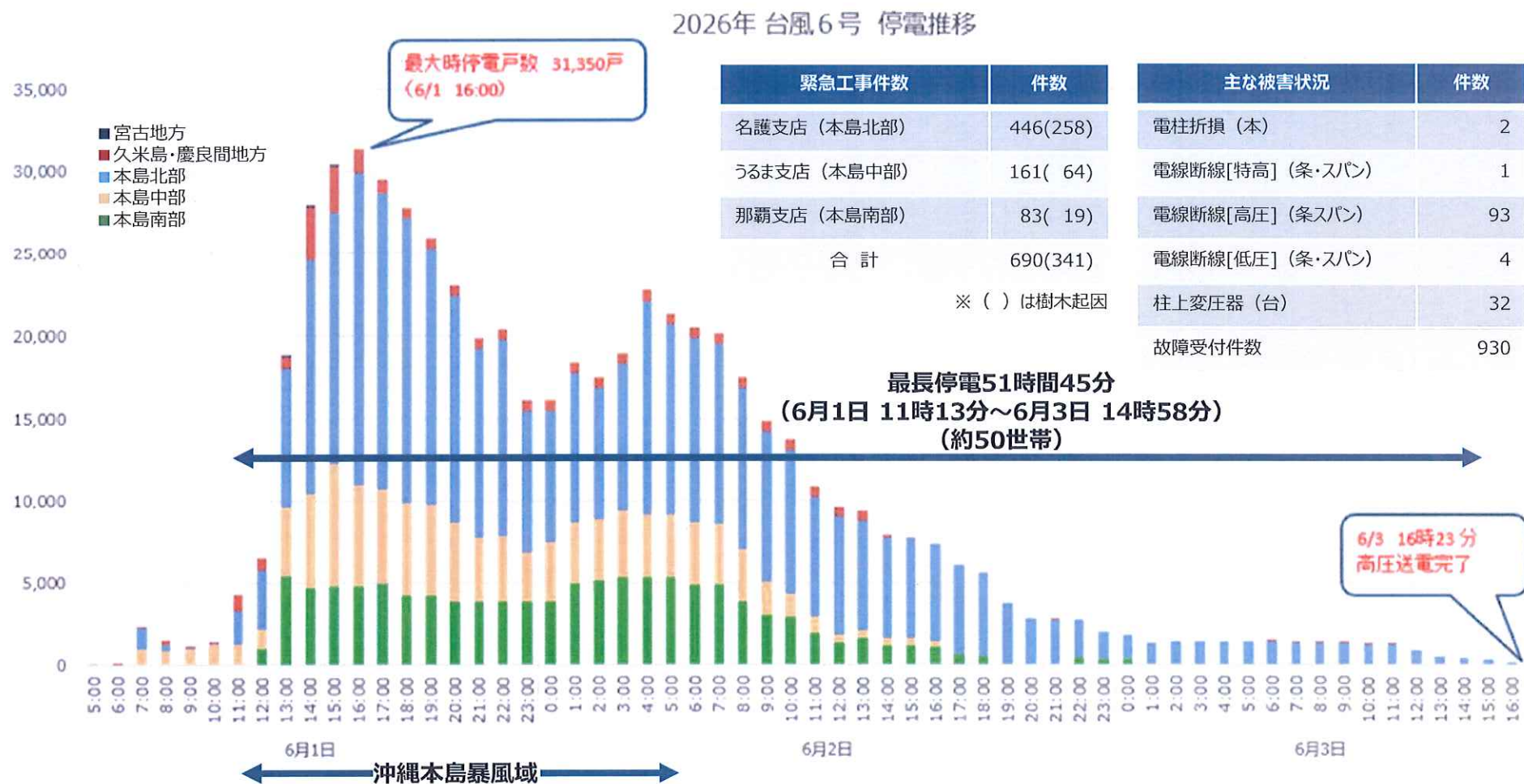


台風6号 対応状況

沖縄電力株式会社
送配電本部 配電部

2026年台風6号 停電推移と被害状況

- ◆ 台風6号が3年ぶりに沖縄本島へ襲来（中心気圧975hPa,最大風速30m/s,最大瞬間風速45m/s）
- ◆ 配電社員約290名、電工約320名の体制で復旧作業に従事
- ◆ 緊急工事の約半数が樹木起因によるもの



台風6号に関する人身災害事故について(1)

● 作業感電災害事故（概要）

■ 発生日時・場所：2026年6月2日（火）
09:00頃伊江村字東江前

■ 発生状況：

線路が停電中と誤認し、充電中の高圧電線に素手で電線を腕金へ移動させようとした際に金属部と接触し感電 **※本来必要な検電等の基本手順を未実施**

■ 被災者：協力会社（離島） 作業員2名

[作業員A（経験年数19年目、40代）]

軽傷（左手・左肩・左腰に電撃痕）

作業員Bの救助後に症状を自覚し診療所を受診
結果、感電が判明し、必要に応じて点滴治療を実施
今後は、伊江島内で通院し治療を継続予定

[作業員B（経験年数2年目、30代）]

重傷（左手・右手・右肩・右大腿部）

感電により、意識消失しヘリにて北部医師会病院へ搬送された。

6/5 夕方に意識が回復、会話に支障は無いとのこと

6/8 日常生活ができるまで回復し退院

今後は、沖縄本島の実家から皮膚科に通院し治療を継続予定

■ 発生原因：

断線確認により「停電中」との思い込み沖電工の作業指示を待たず着工、保護具未着用、検電未実施

→ **基本手順逸脱**による感電事故



台風6号に関する人身災害事故について(2)

● 公衆災害事故（概要）

■ 発生日時・場所：2026年6月1日（月）
16:00頃名護市字久志

■ 発生状況：

高圧線2条が断線し、地上へ落下した電線に接近した際、**再閉路と重なり**通電アークによる火花が指に接触した可能性（推測）その後、体調不良となり救急搬送

■ 被災者：一般男性（70代）

軽傷（手のしびれ）

手のしびれを訴え救急搬送されたが、搬送時には意識は清明で、外傷はなく血圧も正常。

経過観察のため入院となり、6月5日時点で退院。

本人への面談では体調に問題はないとのこと。

外傷は水膨れができ絆創膏を貼っている程度でその他の外傷は見当たらず。

病院では治療行為は行われず、血圧測定・心電図・血液検査などの各種検査を実施し、いずれも正常値であることを確認。

■ 発生原因：

電線が庭に垂れ下がっていたため、電線には触れてはいけないと分かってはいたものの、庭が火災してはいけないという気持ちから近づいたとのこと